提出順	10	発言順	10	令和 元年 11月 27日 (午前)・午後 11 時 13分受領

(3 枚中No. 1)

2019年11月27日

安曇野市議会議長　召田　義人　様

安曇野市議会議員　遠藤　武文

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和　元　年安曇野市議会　12　月定例会		
発言の方法	☑一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	30　分
答弁を求める者	☑市　長　□副市長　☑教育長　□他（　　）		
	担当部長 □総務部　☑政策部　□財政部　□市民生活部　☑福祉部 □保健医療部　□農林部　□商工観光部　□都市建設部 □上下水道部　☑教育部　□他（　　）		
質問事項	本に手が届く優しい街に		

質問の要旨（具体的に記載してください）

1. 視覚障害者サービスの利用状況について
   ①登録者数、利用者数の推移。
   ②郵送等に職員の宅配は含まれるか。
2. 読書バリアフリー法の基本計画（文科省・厚労省）が3月に出ることについて
   ①基本計画を踏まえ、本市の計画を策定するのか。
   ②図書館費等、予算の増額はあるのか。
3. 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に責務が課されたことについて
   ①点訳、デイジー編集の人材をどうするのか。
   ②当事者目線が重要。各図書館への障がい者の配置は？
   ③広報の点字版、デイジー版の作成は？
4. 高齢者や障がい者等への配慮について
   ①宅配、郵送の貸し出しを。
   ②移動図書館の活用を。
5. 生徒、児童、園児たちの図書室利用について
   ①学校司書の配置状況。学校司書の教育指針への関わり。
   ②保育士を絵本専門士に。
6. 定住人口、交流人口の増加について。
   ①本でまちづくりを進める明石市の取り組みをどう評価するか。

提出順	10	発言順	10	令和元年11月27日 (午前)・午後 11時13分受領

2019年11月27日

安曇野市議会議長　召田　義人　様

安曇野市議会議員　遠藤　武文

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和　元　年安曇野市議会　12　月定例会		
発言の方法	☑一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	30　分
答弁を求める者	☑市　長　□副市長　□教育長　□他（　　）		
	担当部長 □総務部　☑政策部　□財政部　□市民生活部　□福祉部 □保健医療部　☑農林部　☑商工観光部　□都市建設部 □上下水道部　☑教育部　□他（　　）		
質問事項	文化的差異を認める優しい街に		

質問の要旨（具体的に記載してください）

1. マレーシアの輸入関連事業者を招いたことについて
   ①食べ物に不都合はなかったのか。
   ②日本酒は華人にしか売れないのか。
2. 商工会のハラール勉強会の開催について
   ①ムスリムのインバウンド誘致は進むのか。
   ②ハラール認証取得への助成は？
   ③人材育成は民間レベルでは難しいのではないか。
3. 給食について
   ①ムスリムから対応を求められたことはないか。
   ②今後、検討すべき課題ではないか。
4. フードバリアフリーについて
   ①多言語表示、ピクトグラムの作成への関与は？
   ②ヒンドゥー教徒（印人）、ユダヤ教徒（米人）への備えは？
4. 移住定住の促進について
   ①ヴィーガン都市宣言で移住者を3倍に増やしたトリノ市に学ぶことがないか。

提出順	10	発言順	10	令和元年11月27日 (午前)・午後 11時13分受領

2019年11月27日

安曇野市議会議長　召田　義人　様

安曇野市議会議員　遠藤　武文

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和　元　年安曇野市議会　12　月定例会		
発言の方法	☑一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	30　分
答弁を求める者	□市　長　□副市長　□教育長　□他（　　）		
	担当部長 ☑総務部　□政策部　□財政部　☑市民生活部　□福祉部 □保健医療部　□農林部　□商工観光部　□都市建設部 □上下水道部　□教育部　□他（　　）		
質問事項	被災住民の混乱に対応できる優しい街に		

質問の要旨（具体的に記載してください）

1.「指定管理施設が指定避難所となっている場合には、指定管理者との間で事前に避難所運営に関する役割分担等を定めるよう努めるものとする」（地域防災計画第12節第3-3避難所の確保）について

①努力義務になっているが、必須ではないのか。

②指定避難所ではない指定管理施設に駆け込む人がいるのではないか。

（ア）福祉避難所

（イ）災害対策基本法改正前の避難施設（豊科郷土博物館、三郷社会就労センター等）

（ウ）その他、インフラの整う指定管理施設

③避難所の指定有無にかかわらず、指定管理者とは災害協定を結ぶべきではないか。